

# 世界最強レベルの日本の潜水艦 あえて南シナ海で 活動していることを公表。

潜水艦の値打ちは海の下に居るのか居ないのか、わからないところにある。

中国やロシアのようにドラをガンガン鳴らしながら、または、コサックダンスを踊りながらの騒音垂れ流しの潜水艦などは存在がバレバレなので「あえて公表」しなくともお互い敵側も「気が付かない振り」をしている。



南シナ海で対潜戦訓練を行う護衛艦「かが」と、「かが」の搭載ヘリコプター(海上自衛隊提供)

つまり、一応は「バレていないこと  
にしておこうね」という不文律があった。

それをわざわざ防衛省は「南シナ海に潜水艦を派遣した」と公表したのだからそれなりのわけがある。

日本の潜水艦を発見するのは世界一のハイテクを持ち軍事力を持つ同盟国アメリカ海軍にさえ発見は難しい。

「発見されない存在が日本の潜水艦」であることがわかっているから防衛省も公表したわけだ。

★「実任務に就く潜水艦」の訓練が公表されたのは初めてのこと。

「南シナ海」に強引に進出しようとする中国海軍の牽制が目的というわけだ。

派遣したのは海自呉基地（広島県）を

母港とする潜水艦「くろしお」。東南アジア周辺海域で長期訓練中の護衛艦「かが」「いなづま」「すずつき」の3隻と合流し、「護衛艦」や「艦載ヘリコプター」がソナーで敵潜水艦を探索する一方、「日本の潜水艦は探知されないように護衛艦に接近する」という実戦的な訓練を行った。



南シナ海で対潜戦訓練を行う護衛艦「いなづま」(左上)と、護衛艦「すずつき」(海上自衛隊 Twitterより)

訓練海域はフィリピン西側の公海上で、中国の南シナ海境界線「九段線」の内側。十分に刺激的な海域であろう。◆未確認だが防衛省は「南シナ海に潜水艦を派遣した」と公表したついでに「南シナ海へ日本の潜水艦を派遣したのは5～6年前からだ」とカミングアウトした、という。

### 海上自衛隊、歴史的なベトナム軍事基地へ初入港

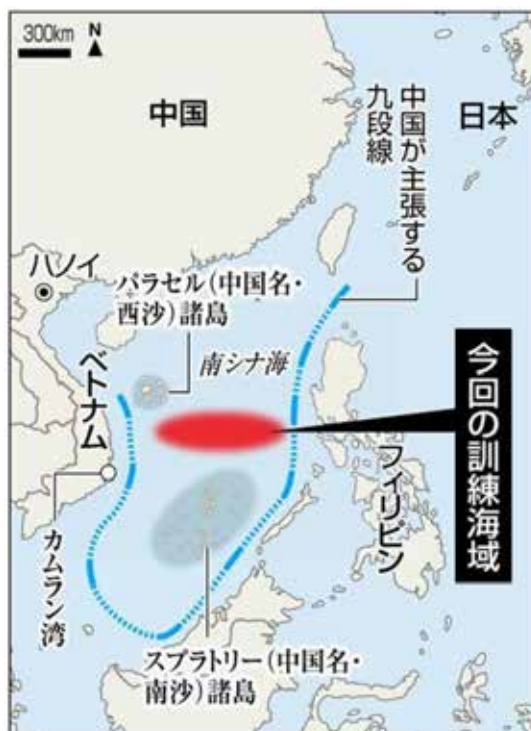
海自潜水艦『くろしお』は、南シナ海に面するベトナム中部の軍事要衝カムラン湾に海自初の寄港も実施した。

南シナ海で中国との領有権問題を抱える「ベトナムとの連携を示したことは中国への圧力」を意識したもの。

安倍晋三首相は10月下旬に訪中を予定しており、日中関係は改善しつつある、というが弱ってきた中国とは言え『尖閣諸島・沖縄まで中国領だ!!』という共産党一党独裁の非民主主義国家、人民を武装警察で弾圧している中国に甘い顔を見



9月17日、海上自衛隊 潜水艦「くろしお」は、ベトナムのカムラン国際港に入港し21日まで親善訪問を行った（海上自衛隊 Twitter より）



せることはない。

「政府は法の支配を重視する立場から覇権主義的な行動には厳しい姿勢で臨む方針」。自衛隊幹部は「南シナ海は日本にとっても重要な海上交通路だ。今後も日本なりの方法で関与していく」と語る。

南シナ海では、中国がスプラトリー（中国名・南沙）諸島の人工島に滑走路やレーダーを建設したほか、パラセル（同・西沙）諸島に地对艦ミサイルを配備し、軍事拠点化を進めている。これに対しアメリカ海軍は人工島から12カイリ（約22キロ）内の海域を通過する「航行の自由」作戦を断続的に実行。アメリカ空軍もB52H戦略爆撃機を南シナ海上空で飛行させ、中国に圧力をかけている。